

## 開会挨拶

愛知県がんセンター総長 木下平

皆様おはようございます。

愛知県がんセンターの開設50周年を祝う、この特別なシンポジウムにおきまして、実行委員会を代表して開会のご挨拶を申し上げることを、大変嬉しく名誉なことに思います。

このシンポジウムによろこそ！

ご参加いただいた全ての皆様および招待演者の先生方に、心から御礼と感謝の意を表したいと存じます。

愛知県がんセンターは、1964年、東京オリンピックが開催され、そして新しい東海道線、すなわち新幹線が開業したのと同じ年に開設されました。

この50年間、愛知県がんセンターは、公益財団法人がん研究会および国立がん研究センターとともに、がんの臨床と研究におけるトップランナーの一つとして邁進してまいりました。

このシンポジウムのテーマは「がん細胞の薬剤耐性獲得機構とその克服戦略」という、まさに最前線のトピックであります。

実り多く白熱した議論から、ご参加いただいた皆様に何か新しいアイデアが生まれ、がんの薬物療法の発展に貢献することを心から期待しております。

繰り返しになりますが、このシンポジウムに、そして名古屋によろこそいらっしやいました。

さあ、シンポジウムを開始する時間です。

ありがとうございました。